

## J A松山市自己改革工程表の進捗状況（平成30年度報告）

取組事項	実施事項	担当部署	今年度の成果や課題						
			平成30年度目標		平成30年度実績		達成率		
将来を見据えた農業者の育成と支援対策	1、担い手経営体（認定農業者・農業生産法人・集落営農組織）の育成と拡大 2、新規就農者の育成や指導の強化 3、地域の経営体に対する事務及び農作業支援の拡大	担い手経営体数の増大 担い手経営体数310	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者は平成29年度より15名増加し307名となり、担い手経営体数は農業法人19人と集落営農組織2組織を合計した328となりました。</li> <li>担い手経営体への支援として、農事組合4法人に対して事務サポートを継続しています。</li> </ul>					
		担い手経営体							
		平成30年度目標	310	平成30年度実績	328	達成率	105.8%		
		J Aが行政や農業生産法人生産部会組織それぞれと連携し、新規就農者の育成を強化	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度中には果樹1名、野菜1名、合計2名の新規就農者が生まれました。なお新規就農者は当組合の生産部会員となりました。</li> <li>農業生産法人との連携でイチゴ栽培研修生4名とトマト栽培研修生3名に栽培技術の指導を行なっています。研修終了後の新規就農に向けた農地確保の支援を行うとともに育成を強化します。</li> </ul>					
		農業塾を継続し新規栽培者を輩出	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>16組17名の塾生が受講し9回の講習を実施しました。その結果3名が当組合の農産物直販所への出荷や共販出荷に向け、蚕豆・白葱等の栽培を行う意向です。</li> </ul>					
		枝豆に共撰を導入	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度より「J A松山市枝豆共撰場」の導入をめざし、部会員への意義の周知や栽培面積の確保に努めたが、向う数年間の生産拡大の確約が厳しい状況下であり、補助事業の要件を満たすことができないことから部会との協議を踏まえ、単独での施設導入を断念することとしました。</li> <li>近隣J Aが保有している同撰果機の共同利用の実現に向けて協議して行きます。</li> </ul>					
共撰やマルチヤー支援 ヘリ防除の継続	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>トマト、ピーマン、花卉(テッポウユリ)は全量ばら共撰を継続して行い、品質向上と荷造り調整労力軽減を行いました。</li> <li>レタス・蚕豆・花卉で61件、9.2haのマルチヤー支援及び新たにレタストーンネル支柱打ち支援を行い、作業労力軽減とそれに伴う栽培面積の維持に努めました。また水稻303.7ha、麦40.2haの無人ヘリコプターによる防除を行いました。</li> </ul>							
安定した農業所得確保への取組み強化	1、営農指導員の適切な経営指導により、年間を通して収入のある農家の増大 2、契約販売や値決め販売による単価の安定や底上げ 3、農産物直販所（青空市・(株)松山生協）の活性化による出荷量の拡大	営農指導員が年間2回以上J A出荷者を訪問し栽培や経営を指導 農の匠による技術伝承	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>営農指導員によるJ A出荷者を中心とした栽培や経営指導を行うとともに、今年度より生産部会員の中で特に栽培技術が優秀な農家を「農の匠」として任命し、経験の浅い生産者や低反収の生産者への技術伝承を指導員とともにを行い、生産技術の高位平準化を進めました。</li> </ul>					
		契約販売先の開拓と値決め販売品目の拡大	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者がJ Aへ出荷した米は全量買い取り、農家手取り向上に向け、取引先として新たに道の駅を増やし取引を開始しました。米買取数量83,640袋、買取金額5億7,900万円</li> <li>安定した農業所得確保のためトマト出荷時の値決め販売、松山長ナスで袋のバラ規格受を継続し、市場集約も行いました。</li> </ul>					
		農産物直売所 出荷者 1,089名 取扱高 3億1千750万円	営農販売部 ふれあい部	<ul style="list-style-type: none"> <li>J A松山市青空市と松山生協生産者コーナーへの出荷者は996名で取扱高は3億1,115万円の実績となりました。</li> </ul>					
		出荷人数							
		平成30年度目標	1,089	平成30年度実績	996	達成率	91.5%		
販売高									
平成30年度目標	3億1,750万円	平成30年度実績	3億1,115万円	達成率	98.0%				

	取組事項	実施事項	担当部署	今年度の成果や課題					
農産物品目別の産地振興	1、生産部会組織の活性化による基幹作物の生産拡大 2、作業省力化に向けた生産部会組織に対する農業機械リース事業の実施 3、産地振興の基礎となる高品質な苗の安定提供	作付面積1,572.10ha (穀類・園芸・花き・果樹)	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水稲と果樹の作付面積は減少しましたが園芸と花卉は微増となり、作付面積は1,519.20haの実績となりました。</li> <li>・ 飼料用米多収性品種媛育21号の栽培面積を24haに拡大しました。</li> </ul>					
		作付面積 (ha)							
		平成30年度目標	1,572.10	平成30年度実績	1,519.20	達成率	96.6%		
	新規リース事業20件	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産部会組織と農事組合法人の9組織に、19台（事業費2,200万）の農業機械リースを行い、今年度も継続して利用し、作業の省力化を図っています。</li> </ul>						
リース事業件数									
平成30年度目標	継続（19件）	平成30年度実績	継続（19件）	達成率	95.0%				
定植苗の供給量拡大	営農販売部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年度より営農部署と育苗部を統合させ、農業者のニーズに合った良苗生産に努めました。トマト・ピーマン・茄子部会苗は352,000本を各部会に必要な量の全量を供給しました。葉菜類は12ha分を育苗供給し、イチゴ雨除けポット苗は松山・久万育苗施設を活用し、供給量が増大しました。</li> </ul>							
生産資材事業におけるコスト低減 コスト低減 トータル	1、JAと生産部会組織の連携強化による生産資材の予約率向上	予約率50%	資材部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAと生産部会組織の連携強化により、生産資材における予約購買の取り扱い量を増やした結果、予約率は51.8%となりました。</li> </ul>					
		予約率 (%)							
	平成30年度目標	50.0%	平成30年度実績	51.8%	達成率	103.6%			
	引取の場合、予約肥料の価格値引継続	資材部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予約肥料を支所で引取る場合、当用価格より8%割引く対策を継続して実施しました。（平成28年度より実施中）</li> </ul>						
	引取の場合、予約農薬の値引実施	資材部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予約農薬を支所で引取る場合、当用価格より8%割引く対策を実施しました。</li> </ul>						
大口取引者に対する奨励対策の実施	資材部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年3月1日から平成31年2月28日までに購入した肥料・農薬の合計取引金額が100万円以上（税込み）の組合員に対して、取引金額の1%の奨励金を支払う対策を講じました。その結果対象者は49名（個人39・法人10）、奨励金の支払総額は871,743円となりました。</li> </ul>							
JA事業による地域づくりへの取組み	1、JAと地域、農家と地域住民をつなぐ広報活動の強化	組合員広報誌とHP、コミュニティ誌の継続	ふれあい部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組合員とのつながりを強化するため、広報誌「だいち」とHPを通して、生産部会やJAの自己改革の取り組みや、老男老女が楽しめるコーナーで情報発信に努めました。</li> <li>・ コミュニティ誌「pakutto」を今年度も3回発行し、地域農業の大切さやJAの役割を地域住民に向けて情報を発信しました。</li> </ul>					
		年3回以上の体験型イベントを実施	共済部 ふれあい部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共済部では「アンパンマン交通安全キャラバン」「リビングキッズフェスタ」「マタニティヨガ、産後ヨガ2回」「すこやか赤ちゃん応援フェスタ」を実施しました。</li> <li>・ ふれあい部では「よい子のまんぷくフェスタinJA松山市」を開催しました。</li> </ul>					
	実施件数								
	平成30年度目標	3	平成30年度実績	6	達成率	200.0%			
移動金融店舗車の定期運行	金融推進部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年10月から運行し、第1、3水曜日は美川店舗、第2、4水曜日は面河店舗で稼働していますが、利用が定着しました。</li> </ul>							